

広島大学図書館活動助成金実績報告書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日)

ごあいさつ

平素より広島大学図書館活動助成金に格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

令和6年度は、広島大学にとって開学75周年、前身校から数えると150年という節目の年であり、これまでの歩みを振り返るとともに、未来に向けた新たな一歩を踏み出す重要な年となりました。社会全体がポストコロナの新たな日常に適応し、大学における教育・研究活動も一層活発化する中、生成AIなどの新技術の進展により、学術情報の利活用の在り方にも変化が求められております。

このような変化の時代において、大学図書館は学術研究と教育の基盤として、柔軟かつ持続可能な情報環境の整備を進めております。昨年度も多くの皆様より温かいご寄附を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。ここに本助成金の収支の現状と活用状況についてご報告申し上げます。

当館は今後も、広島大学の学生・教職員の教育・研究活動を支えるとともに、地域に開かれた図書館として、学術資料の充実、設備の整備、地域住民の皆様へのサービス向上に努めて参ります。学術と文化の中核的施設としての責任を果たし、皆様に信頼され、支援いただける図書館づくりを目指して参ります。

引き続き広島大学図書館へのご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご発展を心よりお祈り申し上げます。

令和8年3月

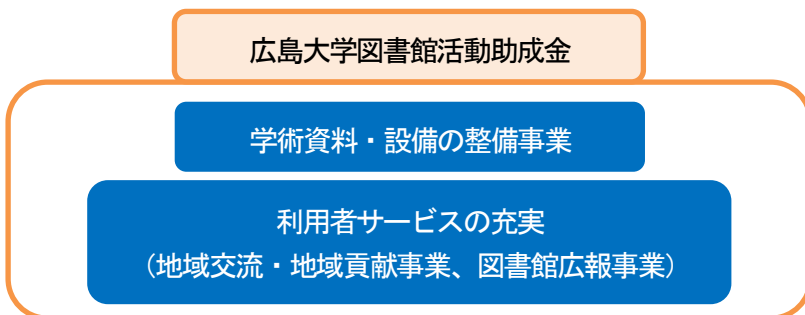
広島大学図書館長 川島 優子

1 広島大学図書館活動助成金について

広島大学図書館活動助成金は、図書館の学術資料の整備や図書館の地域住民の方々へのサービスの一層の充実を図るため、これらの事業実施に活用させていただくために、平成17年2月に創設された寄附金制度です。

令和8年度から大学の基金制度への統合と特典内容の変更を検討しています。詳細が決まりましたら改めてお知らせいたしますが、特典内容の変更とサービスのさらなる拡充を検討しています。引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

今後も本学学生及び教職員の教育・研究を支援するとともに、学術資料の整備や地域住民の方々へのサービスを充実させ、地域社会の生涯学習ニーズに応えていきたいと考えています。

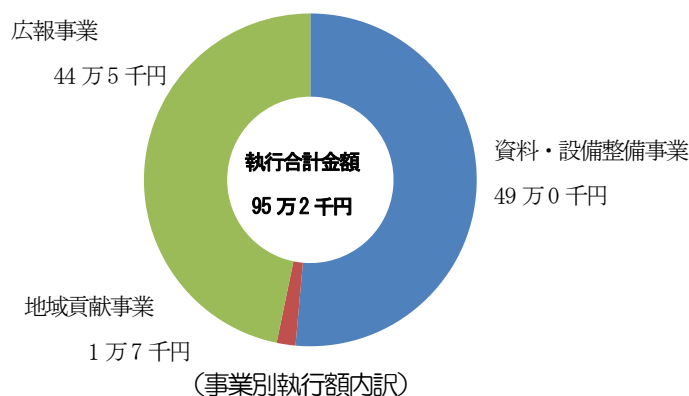
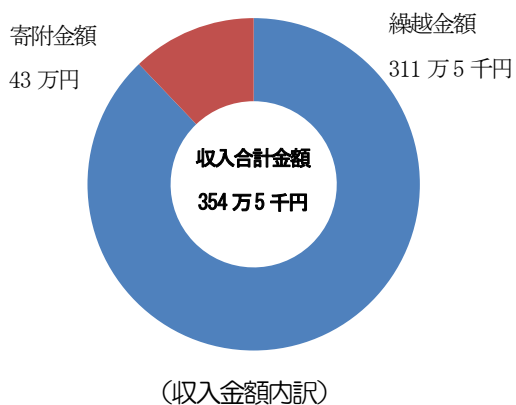


2 収支報告

(1) 寄附金の執行状況

(円)

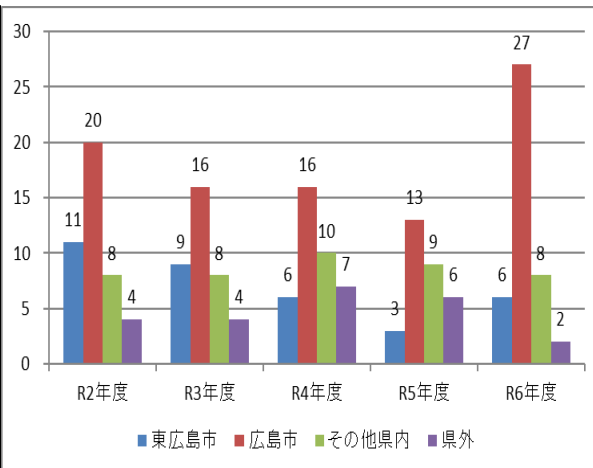
年度	繰越金額	寄附金額	執行金額	寄附金残額
H16～R5		14,425,000	11,309,961	3,115,039
R6	3,115,039	430,000	951,860	2,593,179
計		14,855,000	12,261,821	



(2) 年度別・居住地別データ

広島県内はもとより、県外からもご寄附をいただき、これまでいただいた寄附金は、14,855,000円 (のべ件数：個人1,102件、企業・団体5件) となりました。

年度	居住地			件数	金額(円)
	東広島市	広島市	その他		
H16年度	9	5	7	24	235,000
H17年度	12	17	12	44	614,000
H18年度	10	17	10	54	665,000
H19年度	16	17	14	49	520,000
H20年度	9	31	19	64	662,000
H21年度	23	25	14	70	710,000
H22年度	30	32	19	86	891,000
H23年度	21	24	17	66	677,000
H24年度	24	22	19	73	756,000
H25年度	20	18	18	62	625,000
H26年度	19	19	15	61	612,000
H27年度	13	12	16	48	486,000
H28年度	14	17	20	58	597,000
H29年度	14	19	16	56	577,000
H30年度	11	24	13	53	1,477,000
R元年度	10	19	11	44	1,311,000
R2年度	11	20	8	43	900,000
R3年度	9	16	8	37	530,000
R4年度	6	16	10	39	810,000
R5年度	3	13	9	31	770,000
R6年度	6	27	8	43	430,000
計	290	410	290	1,107	14,855,000



3 主な事業の実施状況

令和6年度は、次の事業に活用させていただきました。

(1) 学術資料・設備の整備事業

設備の整備事業として、学生から要望のあった、給水機を購入し設置しました。運用開始が晩秋の寒くなってくる時期だったにもかかわらず、設置直後から利用が非常に多く、夏には行列ができることがあるほどの人気になりました。旧来からあるような直接飲むタイプではなく、マイボトルなどに水を汲むタイプになっています。衛生面が向上していること、またペットボトル等の使い捨てを減らすエコ意識の高まりなどで、潜在的な需要が多かったためと考えています。



(2) 地域交流・地域貢献事業

地域貢献事業の一環として、令和6年度広島市立図書館・広島大学図書館連携講演会(令和7年2月16日/広島市立中央図書館3階セミナー室)を開催しました。講師として昨年に引き続き広島大学大学院人間社会科学部研究科教授の有馬卓也先生をお迎えし、「高杉晋作と雲井龍雄 -ウグイスとホトトギス-」の演題でご講演いただきました。今回も前年同様に、60名の定員が事前申し込みで瞬く間に満席になってしまいました。当日は多数の方にご参加いただき、盛況のうちに終わることができました。

広島市立図書館・広島大学図書館
令和6年度連携講演会

**高杉晋作と雲井龍雄
-ウグイスとホトトギス-**

「夢を思いつつ夢をかけた二人の魂を、長州藩の藩士高杉晋作と雲井龍雄の生涯を、雲井の断片「数日無事」と高杉の断片「高杉晋作」にそれぞれ組み合わせたウグイスとホトトギスが舞うるものを観覧せよ。両家の縁に一つお話しします。

入場無料
定員60名(先着順)
対象：一般
広島市立図書館・広島大学図書館
協賛：広島市立図書館・広島大学図書館

講師
ありま たくや
有馬 卓也 氏
広島大学大学院
人間社会科学部研究科教授
(中国思想文化学)

令和7年2月16日(日) 14:00~15:30
広島市立中央図書館 3Fセミナー室

申込 2月1日(土) 9:00 受付開始
本講演会の申込は2月1日(土)まで
最終申込の申込は2月1日(土)までにご参加ください

・会場：広島市中区基町3番1号
・TEL: 082-222-5542
・FAX: 082-222-5545
・ホームページの申込フォーム
いずれかの方法で
お申込みください

広島市立図書館ホームページ

主催：広島市立中央図書館・広島大学図書館

(3) 広報事業

広報事業として館内の地域・国際交流プラザに展示用のパネルやワイヤーを購入しました。キャスター付きで移動やレイアウトの変更が容易になり、展示できるものやレイアウトの幅が広がりました。広島大学75+75周年事業の企画展示や、学生サークルの各種作品展示などで活用し、図書館のみならず大学内の各種活動について地域の皆様にご覧いただく一助になりました。



4 その他

本学ではご寄附いただいた皆様に謝意を表するとともに、本学の資金状況について、社会に対し透明性を確保するため、ご寄附のお申し出の際、書類にて、広島大学ホームページへの公開にご承諾いただいた方のご芳名を公開しています。(敬称略)

広島大学ホームページ >社会・産学連携>ご寄附 >寄附金情報の公開
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/iagcc/kifu/publication>

お問い合わせ先

広島大学図書館 図書館支援グループ

中央図書館主担当

〒739-8512 東広島市鏡山一丁目2番2号

電話番号：082-424-6214

図書館へのご寄附について

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/library/about/donation>